

キャラクター名
森森 碧-シリシ・ドトリ

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハイロウ ハヌマーン	ワークス	UGN支部長B	カヴァー	小学生
オプション		年齢	11歳	性別	女性
覚醒	生誕	衝動	破壊	初期侵食率	33%
出自	親の理解	経験	秘密	邂逅	師匠

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	1	0	0			1	行動値	12
感覚	4	1	0			5	(非装備時)	12
精神	2	0	0			2	戦闘移動	17
社会	1	0	0			1	全力移動	34

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	1		RC	13		交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:レネゲイド	1		情報:UGN	3	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
エメラルドルピナス	RC	5r+13		10		コンソントレイト:ハヌマーン)+(光の手)+(振動球)+(減じの光)+(レーザーファン)、装甲無視、範囲選択、最速通り
ヨルザキアラセイトウ	RC	5r+13		34		コンソントレイト:ハヌマーン)+(光の手)+(振動球)+(減じの光)+(レーザーファン)(マスヴィジョン)、装甲無視、範囲選択、最速通り

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ:UGN幹部	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス:奇妙な隣人	P	N		
両親	P 感服	N 食傷		
玉野 椿	P 尊敬	N 疎外感		
アルベリヒ	P 傾倒	N 憎悪		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンソントレイト:ハヌマーン	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: C値-LV								
光の手	1	2	メジャー	視界	-	-	-	
効果: 感覚で判定できる								
振動球	1	3	メジャー	視界	-	対決	-	
効果: 攻撃力+LV、射功、装甲無視								
減じの光	3	3	メジャー	-	-	対決	-	
効果: 攻撃力+[LVx3]、単体無効								
レーザーファン	2	3	メジャー	-	範囲(選択)	対決	-	
効果: 対象を範囲(選択)に、シナリオLV回								
マスヴィジョン	3	4	メジャー	-	-	対決	100%	
効果: 攻撃力+[LVx5]、シナリオ3回								
オリジン:ヒューマン	1	2	マイナー	至近	自身	自動	RB	
効果: シーン間、判定達成値+LV								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「ねえ……今度の任務、成功するかな……。 うん、大丈夫だね。 みんな頑張ってくれている。 私も頑張らないと……」

——走馬灯が走った。
流れ出る記憶、溢れる想い出。死ぬ直前、人はこんなものを見るという。私の視界は、一瞬でそれに満たされた。

ああ、幼い私がいる。両親がそれを微笑みながら見つめる、家族団楽の光景だ。父はオーヴァード、母もオーヴァード……。私は生まれながらにしてオーヴァードだった。その生誕は両親ともに喜ばれ、私はUGNで育てられた。様々な英才教育を施され、誰よりも厳しい訓練をした。努力の甲斐あってか、才能の開花か……私は物心ついた頃には既に力を自在に操れた。両親の期待は高まる。私は、私は……怖かった。嫌だった。逃げ場なんか無い。そんな訓練と勉強とプレッシャーの地獄の中で、私は育った。

いつ頃だったのだろうか。私は…… “彼”を見るようになった。
“彼”は……私だった。男の子になった私……まさにそんな感じの奴。
普段は無口だけど、辛いとき、悲しいときは傍にいてくれた。
私は彼を翠と呼ぶ。翠は私と同じように育っていき、声をかけてくれる。
でも、彼は私にしか見えない。
調べてみると、“イマジナリーフレンド”というらしい。子供が寂しさを紛らわす為に呼び起こす幻想の友達。
しかし、私には分かる。彼はそんな精神的な存在ではない。
アレはレネゲイドピーイングだ。私の精神に巣喰う人ならざるもの。